

長期療養者に対する就職支援事業

- 平成25年度から、ハローワークに専門相談員（就職支援ナビゲーター）を配置し、がん診療連携拠点病院等と連携したがん患者等に対する就職支援モデル事業を開始。
- 平成28年度からは、3年間のモデル事業で蓄積した就職支援ノウハウや知見を幅広く共有し、全国に展開。平成29年度からは治療と両立できる求人（両立求人）の確保等を推進。
- 令和2年度は、連携先拠点病院の増などを目的に**相談支援体制のさらなる強化を図る。**
※就職支援ナビゲーター：94名→**114名**

就職率
(令和元年度)
58.2%

連携先拠点病院 (がん診療連携拠点病院等)

協定締結

ハローワーク (全国47都道府県)



長期療養者

本人、相談支援センター
相談員も交えた相談

➤相談支援センターへの出張相談

➤労働市場、求人情報等
雇用関係情報の提供

・就職希望者の誘導
・本人の医療関係情報の提供

○個々の長期療養者の希望や治療状況等を踏まえた職業相談、職業紹介

○長期療養者の希望する労働条件に応じた求人の開拓、求人条件の緩和指導

○長期療養者の就職後の職場定着の支援

○連携先拠点病院等と連携した事業主等向けセミナー

相談



相談支援センター

専任の就職支援ナビゲーターが連携体制を構築

- MSW・医師・看護師と日常的にコミュニケーションをとり、就労支援への理解促進とともに信頼関係を構築
- 連携先拠点病院側とともに、地域の医療スタッフ・患者等に対する就労支援に係る広報やセミナーを企画、実行
- 連携先拠点病院が実施する研修会（医師・MSW・看護師等向け）の講師として参加